

東工大の関口教授が代表謝辞

令和6年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰」表彰式

文部科学省は4月17日、令和6年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰」表彰式を文科省3階講堂で執り行った。



盛山文科大臣は、科学技術の水準向上に寄与することを目的として、科学技術に関する研究開発、



盛山大臣はじめ、藤原章次官ら文科省幹部が出席した表彰式(文科省3階講堂)

最後に、受賞者を代表して東京工業大学の関口仁子教授(研究部門受賞者代表)が自身の研究に言及するとともに「科学技術分野の文部科学大臣表彰を受けることは、私ども研究、技術開発、また教育に携わる者にとって大変光栄なことであり、今後それぞれの道に精進していくうえで大きな励みとなる。現在、先の読めぬ国内外の情勢、気候変動等さまざまな課題に直面する私たちが、我が国には長い歴史の中で培われた叡智、確かな技術、そしてそれを育む経験と力があると私自身は思っている。これらを崩さず維持し発展させ、後進につなげられるよう今後とも精進する所存である。また、今年度は若手科学者賞として100名の方が受賞している。この方々を、含む才能豊かな人材が育まれることにより、我が国の科学技術水準が向上していくことを強く願う」と謝辞を述べた。



科学技術賞研究部門代表の関口氏(東京工業大学教授)



若手科学者賞代表の野々村恵子氏(京都大学教授)



研究支援賞代表の押川浩之氏(東京大学技術専門職員)